



# Japan Heart

## 2012 annual report

# 2012 annual report

# 年次報告書

2012.4.1～2013.3.31



Japan Heart

今、思っていること

人生眞

X Japan Heart



## ジャパンハートのあゆみ

1995

2004

2008

2009

5月、サイクロン・ナルギスにより  
ミャンマー史上最悪の自然災害が発生

- 吉岡秀人・ミャンマーでの医療活動を開始する



ミャンマーでの活動当時の吉岡。

- 国際医療ボランティア団体  
ジャパンハート設立
- ミャンマー・ヤンゴンオフィス開設
- ミャンマー・ワッヂエ慈善病院で  
医療支援活動を開始
- 国際長期研修開始
- 頸部神経線維腫ウイン君  
手術のため来日

### メディア出演

- テレビ東京「ドキュメンタリー特集:ここにいのちある限り」(2005)
- TBS「夢の扉」(2007)
- NHK教育テレビ「ETV特集～ミャンマーに医療の架け橋を」(2009)
- 毎日放送「情熱大陸」(2009, 2010, 2011)
- テレビ東京「世界を変える100人の日本人!」(2010)
- NHK BS1「エル ムンド」(2012)
- NHK BSプレミアム「輝く女」(2013)、他

- 東京事務局開設
- カンボジア・ブノンベンオフィス開設
- ミャンマー・サイクロン被災者緊急医療支援  
(5・11~8・31)
- ミャンマー・マンダレー寺子屋保健室開設
- 国際看護長期研修開始(旧・国際長期研修)
- 日本・地域医療事業開始
- ミャンマー・サイクロン孤児支援開始
- 心の医療事業開始
- 第一回自由都市・堺 平和貢献賞 奨励賞受賞
- NPO法人格取得



九州全土に相当する被  
害の中、医療・食料等  
の支援を展開。

- カンボジア・ブレイベン州保健活動開始
- カンボジア・外務省MOU締結
- ミャンマー・トゥーチャーアウン君  
手術のため来日
- カンボジア・保健省MOU締結
- カンボジア・ブレイベン州、  
巡回診療及び外科手術開始



脳瘤のトゥーチャーアウン君の手術を日  
本で行うプロジェクトを実施。  
※脳瘤（のうりゅう）とは頭蓋骨の欠  
損部から脳が一部出た先天的な病気

# 一歩また一歩と噛みしめて 山を登るような時間であった。

2004年にジャパンハートをつくり、たった4人の医療者で始めた活動が、今では年間200人以上の医療者が海外で活躍し、ミャンマーのみならず、カンボジア、ラオスでも活動が始まっている。今年は300人を越えていくだろう。

医療者たちの拠点をタイのバンコクに設置もできた。国内では東日本大震災復興の支援はもちろん、僻地・離島に医療人材を派遣し、がんの子ども達へのサポートを行っている。医療・保健事業、そして社会福祉事業と幅広い事業に取り組めるようになった。その恩恵を受ける人たちの数は年間数万人にのぼるだろう。ミャンマーの子どもたちをHIVや人身売買から守る養育施設Dream Trainには設立後わずか2年で、すでに170名近い子どもたちが入居している。

この活動を始めた頃、私は必死だった。お金もなく、人もなく、情報もない。

医者になってから蓄えたわずかなお金だけが、頼りだった。だから皆で、歯を食いしばりながら様々な困難に耐えねばならなかった。

あれから9年以上が経ち、何と私は運に恵まれた人間なんだと今さら思う。

今、私はもう一人で歯を食いしばって耐える必要もない。横を振り向けば同じように歯を食いしばって共に堪えている多くの仲間たちの顔がある。これらの仲間たちと共にジャパンハートのこれから数十年の拠点作りにそろそろ歩を進めてみたい。私たち最前線で戦う者とそれを支えている無数の期待とサポートがある限り、私はまだまだ大したことをやれる気がするのだ。

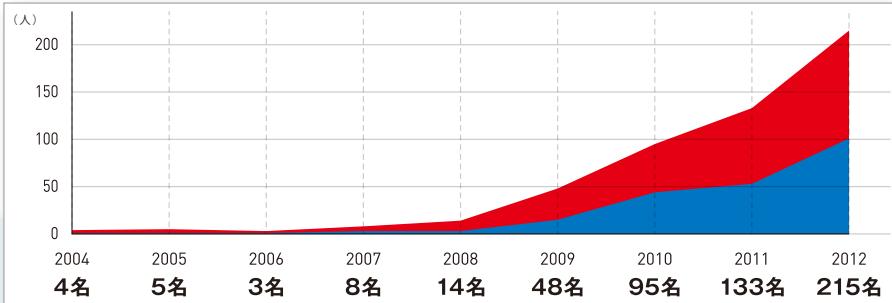
子どもはいい。

子どもを助けるお手伝いが出来るほど  
この世に幸せなことはない。

## ジャパンハートの ボランティア 医療者の推移

■ 看護師  
■ 医師

3月11日、東日本大震災



2010

2011

2012

2013

- ミャンマー・養育施設 DreamTrain開設
- タレント照英さん ボランティア活動参加
- ミャンマー・視覚障害者自立支援プロジェクト開始
- ミャンマー・視覚障害者医療マッサージ訓練センター開設
- カンボジア・ボランティア医療者の受け入れ開始
- 日本・スマイルスマイルプロジェクト開始(旧心の医療事業)



養育施設 DreamTrain。  
28人からスタートし、今では  
163人が生活している。



震災直後から支援に入り、活動参加者は500人を超えた。

- ミャンマー・DreamTrain、サイクロン孤児里親制度開設
- 東日本大震災緊急医療支援
- カンボジア・夢の架け橋プロジェクト開始
- 国税庁より「認定NPO法人」として認定を受ける
- 宮城県石巻「NPO法人ジャパンハート こども・内科クリニック」開院



震災直後から支援に入り、活動参加者は500人を超えた。

- 第38回大山健康財団賞受賞
- ニーニーちゃんプロジェクト開始
- ミャンマー・社会福祉省MOU締結
- 女優・戸田恵梨香さんボランティア参加
- ミャンマー・保健省MOU締結
- ラオスオフィス開設



難病の女児のため学生チームが寄付を募り、日本での治療を成功させた。

- ミャンマー・ミッチーナ 医療支援開始
- ラオス・医療支援活動開始



ラオスでは医療者育成が重要課題。

# ■なぜ今、カンボジアなのか。

カンボジアは近年、観光業や製造業などの成長も著しく経済発展を遂げている。

国民一人あたりのGDPは912米ドル、経済成長率は7.2%、物価上昇率6.4%であり(2011年調べ)、

各国からカンボジアへ企業進出も増え、今後も成長し続けると予測されている。

しかし、医療面においてはその発展から取り残されているのが現状である。



カンボジアは1950年代まで文化・技術などが発展して、「東洋のパリ」と呼ばれていた。1975年の内戦でポル・ポト政権が成立。この政権は資本主義の要素を全て否定する「原始共産主義社会」であった。都市の無人化、農村への強制移住、市場・通貨の廃止、連絡機関・移動手段の廃止、宗教活動・医療・学校教育の廃止、書物の焼却、家族概念の解体等が断行された。

これらの政策の反対者とみなされた者は、残酷な拷問を受けた後、処刑された。犠牲者は3年8か月間に100万～200万人と言われている。解放後に残った国民の83%が13歳以下と言われており、現在のカンボジア人口は30歳以下が半数となっている。(2008年カンボジア人口センサスより)

特に政治家・医師・教師など知識層と呼ばれる人々が集中的に制裁され、解放後に残った医療者は40人程度であった。解放後に急遽増やした医療者は知識・技術ともに不足しており、患者に多大な影響をもたらした。その影響が現在もなお続き、住民の多くはカンボジアの医療を信用していない。富裕層は隣国へ治療に行くが、貧困層は治療を受けられないまま見守るしかない。各国からの支援が入り、ハード面を強化しても管理できるものがいない、ソフト面での教育も行き届かず患者へ必要な治療ができていない現状がある。

医療者の数もまだ不足している。2011年のWHOの調べによると国民10万人に対して医師は23人、看護職は79人。「保健医療従事者が危機的に不足している国」57か国の中一つに数えられている。ASEAN加盟10か国の中では最も少ない人数である。

それに加え、カンボジアでは医療者が病院にいることが少ない、給料が低い、患者対応が悪い、医療者のモ

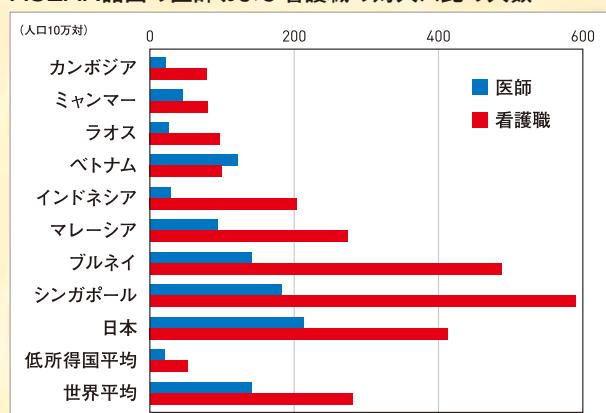
ラルがない、モチベーションが低い、病院が汚いなど様々な問題が残っている。住民からも「患者に病気や治療の説明がない」「患者のところに来てくれない」といった声もよく聞かれる。

カンボジア事業 Director のイエンは悲しい経験をしている。「父が病気になった時、カンボジアの病院に入院しました。病院のスタッフはしっかりケアをしてくれず父も家族も安心して治療してもらえないまま父は亡くなりました。そのことから病院が嫌いになりました。」と話していた。

カンボジアの医療に今足りないことは、正しい医療の知識・技術を持った人材とともに信頼できる医療、安心して受けられる医療である。そのため、現在の医療者とこれから医療界を背負っていく医療学生たちの育成が鍵となってくる。「医療とはなにか」「患者を診るとは」「ケアすることとは」。医療の概念が薄いカンボジア。住民が信頼し安心して自国の医療を受けられるとき、カンボジアの医療は発展していくといえる。

ジャパンハートでは、カンボジア人医療者の育成を重要課題とし、現地に拠点をかまえ、今後の支援に注力していく。

ASEAN諸国の医師および看護職の対人口比の人数



出典:World Health Organization, World Health statistics 2012より作成。



これからの自分

予測不可能

Japan Heart

## カンボジア活動への思い。

海外事業部長・看護師

**長谷川 彩未**

Ayami Hasegawa



2008年5月、カンボジアに渡った私の目の前に、数々の惨状が現れた。

巨大病院の玄関先で、独り息を引き取る患者。その横を素通りする現地の医療者達。お金社会の現実。子どもや女性が犠牲となっている現状。生まれた場所が違うだけで人の一生はこんなにも違うのかと衝撃を受けた。この国を知れば知る程、行き場のない悔しさが押し寄せた。

しかし、50年前の日本もきっと同じだったのだろう。であれば、カンボジアの将来も今の日本のようになるかもしれない。急激な経済発展、医療レベルの向上、その先に人々の心が取り残される未来に…。

きっと日本人の看護師だからこそできることがある。多くは望まない。まずは一人ひとりを笑顔にしていこ

う。そう思った。

あれから5年。今ではカンボジア政府も我々の活動を賞賛している。

医療活動では協力病院が3ヶ所に増え、昨年度は日本から延べ110名の医療者が活動に参加した。また、日本人里親から資金援助を受けた、カンボジア医療の将来を担う医・看護学生を育成している。彼らの知識に対する貪欲さはカンボジアの国を象徴しているようだ。

今後さらに多くの優秀なカンボジア人医療者を育成すべく、拠点となる病院建設のための調査を開始している。

日本とカンボジア、さらにアジアへ。医療の届かないところに医療を届ける。

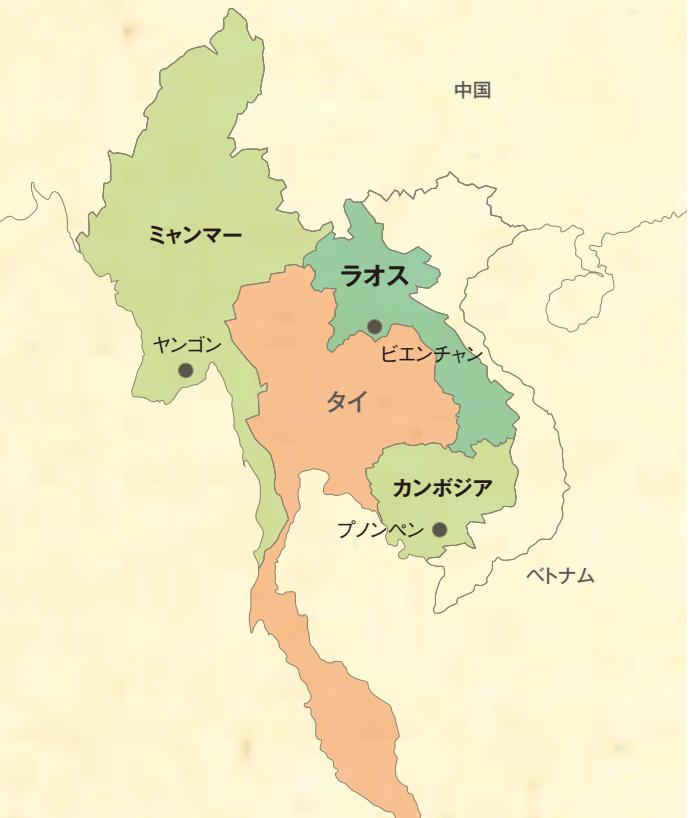
## ■ ラオス 医療支援を本格的に始動。

昨年5月末よりラオスに調査に入り、活動の可能性を探り、準備を進めてきました。活動許可をラオス政府に申請し、本年7月3日に覚書(MOU)を締結しました。

ラオスでは、適切な治療が受けられずに命を落とす患者さんが多くいます。多くの外国の支援が入っている現在でも、乳幼児死亡率は東南アジアにおいてミャンマー、カンボジアに次いで第3位であり、未だ後発開発途上国を脱却できていません。

ラオス人の手によって、ラオス人を救うことができるよう、現地医療者育成を目標に据えています。郡病院医師に手術技術移転を計画しており、ラオス最大の国立病院とも連携していく予定です。また、将来の医療を担う看護学生への看護教育支援も計画中です。

一人でも多くの患者さんの笑顔を作ることができるよう、支援活動をしていきます。



# 「医療の届かないところへ医療を届ける」 カンボジアの支援の形。



医療者育成が急務です。  
自分たちの医療を自ら立て直していく手助けを!



## 医療活動

日本よりの短期参加者、特にリピーターの方が増えています。それに伴い、専門性に合わせて、いかに充実した活動を行っていただけるか頭を悩ませています。活動の質を高めることで患者さんへ還元される医療の質も高まります。互いから生み出される力は大きく、この4年間の活動で年々高い評価を得て、口コミも増えさらに多くの患者さんが集まっています。

また医療者育成支援にも力を入れています。医療崩壊から36年たった今でも医療の知識・技術は遅れており、貧しい人々には医療は届かない現状が続いている。活動先の病院の医師・看護師が正しい・知識・技術を習得することで、多くの人々が安心して医療を受けられるよう現地医療者の教育を続けています。各病院より報告を受けた数字が我々の活動成果を物語っています。

### ◎チューンプレイ病院（住民9万人）

日本政府の草の根無償資金支援を受け、新しい病棟の建設も順調に進んでいます。職員のモチベーションも上がり、コンポンチャム州でも有名な病院となっています。

### ◎ペイリアン病院（住民20万人）

継続した支援の結果、多くの患者が来院するようになり、国からの運営予算も以前は不充分でしたが、今は十分貢えるようになり、モデル病院にも指定されました。2009年にはベッドの稼働率が54%でしたが、現在は患者さんからの信頼を得て、稼働率は100%となりました。

また、この地域では病院での出産はわずか20%でしたが、医療者育成の結果、現在は78%に増加しています。



## 奨学生支援活動「夢の架け橋プロジェクト」

カンボジア医療の最大の問題は、患者に信頼される医師が不足している点です。知識や技術の足りない医療者では、後進の育成も十分ではないため、カンボジア人医療者を自ら育成すべく、2011年より奨学生支援活動を開始しました。医療者になりたいと希望する地方の学生を対象に学費・食費・住居費等を支援しています。

今年も2名の学生を受け入れ、医学生4名・看護学生2名の計6名の学生を支援しています。全ての奨学生に教育を支援する里親がついています。

奨学生は団体の医療活動にも参加し、現場の医療も学んでいます。今年は、医療活動時に短期ボランティアとして参加した医師・看護師から医療について学ぶ機会も多く、目を輝かせて、質問を投げかけています。学生たちは医療を受けられない現状を経験しており、差別なく村の

人々が医療を受けられるように医師・看護師になりたいと強く思っています。今年度は1名の学生が大学で成績優秀者として表彰されました。

現在は1ヵ所の高校から学生を受け入れていますが、今後もさらに多くの学校から受け入れを行い、カンボジアの医療を担っていく学生の支援を行っていきます。



夜遅くまで日本人医師に質問する奨学生たち。彼らの夢は、優れた医療者になって、村のみんなの健康を守ること。

## 保健活動

今年は2009年より開始した高校生への応急処置の授業3ヵ年計画が終了し、今までの授業内容を冊子にして高校へ寄贈しました。学生や先生からは授業を継続してほしいとの要望もあり、今後は今までの授業内容をよりわかりやすく、さらに多くの学校で活動できるよう計画をしています。

また、高校では健康診断、小学校での生理の授業、村の診療所や病院での一時救命処置の勉強会も継続実施しています。



↑ 友好学園にて内服薬についての授業  
→チューンブレン病院にて乳児異物除去の授業



これからの自分



Japan Heart

ジャパンハートとの関わりは2008年、  
1枚のチラシから始まりました。

カンボジア事業 Director

**カン イエン**

父を病院で亡くしていた私は病院が嫌いで、汚くて臭いといったイメージしか持っていましたが、そのチラシをみて日本の看護師や医師に興味を持ちました。まずは2か月間働くことを決め、団体に入りました。初めてのことばかりで緊張や医療に関わることの怖さがありました。そこでみた医療は驚きの連続でした。患者さんに優しく、しっかり治療をしてくれる。そんな団体がカンボジアにあ

ることを喜びに感じました。病院を毛嫌いしていた私ですが、活動を通して病院を好きになることができました。これからの私の目標は『カンボジア医療の発展のために教育や指導をすること』、『奨学生を沢山育てる』こと、『たくさんの日本人にカンボジアを知ってもらい協力してもらうこと』、『カンボジアで団体の活動をもっとひろげていくこと』です。

# ジャパンハートの原点。 子どもたちの未来を救う医療がここにある。



活動を始めて9年。信頼と実績を得て、  
さらに充実した医療を運ぶ。

## ザガイン・ワッヂエ慈善病院医療活動



2004年の団体設立当時から活動を行っているミャンマー中部ザガイン管区のワッヂエ慈善病院では、活動開始から9年が経過し、ジャパンハートによる医療活動はミャンマー全土で知れ渡るようになりました。2012年度には11,712名(2011年度9,634人)に対する外来診療と共に、1,782件(2011年度1,969件)もの手術を実施してきました。日本からの医師・看護師ボランティアの参加も年々増加傾向にあり、より高度で多岐にわたる治療を提供できるようになってきました。また、日本の医療を学

びたいと望むミャンマー人医師・看護師も増えており、日本人とミャンマー人が一丸となって医療活動を行っています。

ワッヂエ慈善病院での18歳以下の子どもの治療費・手術費用は、J.S.Foundationの協力を得て、医学生・看護学生に対する奨学金給付事業および高圧蒸気滅菌器購入は一般財団法人新倉会の支援を得て実現しています。

また、(独)郵便貯金・簡易生命保険管理機構より配分された「国際ボランティア貯金」の寄付金で、医療機器等の購入をしています。

## 養育施設「Dream Train」

HIVで親を亡くした子ども、毎日食べ物を口にできず、教育を受ける機会に恵まれない子どもたちを預かる養育施設Dream Trainを2010年に設立しました。現在では、総勢163人の子どもたちが共同生活をしています。当初は字の読み書きもできなかった子どもたちも、今では寺子屋に通い、教育を受けられるようになりました。

一日にご飯を一食食べる事が難しかった子どもたちもDream Trainでは新しくできた食堂で、一日三食、お代り自由で食べることができ、おやつも食べられるようになりました。

食堂の隣には礼拝堂が2つ建てられ、キリスト教徒の子どもたちと仏教徒の子どもたちが宗教別にお祈りしています。

2012年10月には、女優の戸田恵梨香さんがボランティア参加され、その様子がテレビで放映されました。



また、ミャンマー女子サッカーナショナルチームの日本人監督・熊田嘉則さんが毎週のように訪れ、サッカーの指導をしてくれています。

## サイクロン孤児支援

2008年5月にミャンマー南西部を襲ったサイクロン「ナルギス」災害から5年。ジャパンハートは災害にて親を亡くした41名の子どもたちに対し、生活および教育支援を継続して実施しています。災害時まだ母親のお腹の中にいた子ども2人も、すでに5歳になりました。この子どもたちが社会的に自立するまで見守っていきます。



## 視覚障がい者自立支援事業

外務省からの無償資金供与は2013年6月で終了となり、今後、事業主体はミャンマーの社会福祉省へ移管します。ジャパンハートは自己資金にてスムーズな移管を進めています。

2013年3月には初めての「ミャンマー医療マッサージ師全国統一資格試験」が実施され、この試験が名実ともに権威を伴うことで視覚障がい者の社会進出が進むことが望まれます。

2013年半ばには「ミャンマー医療マッサージ教員養成所」が新たに完成します。また、視覚障がい者が働くことのできる施設を整備すべく、日本の民間企業と共に医療マッサージ店舗展開を準備しています。



日本から筑波技術大学・緒方教授をはじめ、多数の先生を招聘してのセミナーと実技指導

## 透析事業

ミャンマーの透析治療の向上のため、2011年度より透析治療に関わる人材の育成や透析センターの整備などの活動を開始しました。2012年度は、ミャンマー国内の透析医療の中心的役割を担う2つの総合病院に対し、透析を行うための血液浄化装置を合計8台寄付しました。



## 保健活動

2008年度より実施している、地域の寺子屋に通う子どもたちに対する保健・衛生教育活動も引き続き実施しています。「手洗い」「口腔ケア」「応急手当」「感染予防」などの項目について、紙芝居やデモンストレーション等を用いて、子どもたちが理解しやすい衛生教育を目指しています。日本のような保健室や保健の授業のないミャンマーにおいて、子どもたちが健康な状態で勉学に励める環境を提供しています。

## 東日本支援

石巻・気仙沼



### ジャパンハートこども・内科クリニック

震災から約2年後の宮城県による調査では石巻医療圏(東松島市・石巻市・女川町)の医療機関は88.1%が復興しています。当クリニックは平日の診療で疲弊している被災地での医療者の補完をする役割から土日祝日のみの診療をしています。北は北海道、南は鹿児島県より17都道府県のボランティア医師の参加がありました。また患者さんからは「(クリニックがあるので)実家のある石巻に安心して子どもを連れて帰ることができます。」との声も頂いています。



### 心のケア活動

震災直後より宮城県気仙沼市の公私立幼稚園5園にて「将来を担う子どもたちのこころとからだの健全な発達を図る」を目標とした心のケア活動を行っています。

現在は主に個別のカウンセリングを行っています。また、子どもたちの心のケアには親や幼稚園教諭の理解ある関わりが重要であったため、父母会での講演活動や「心の問題を考える」などのテーマで講義するなど理解を促しました。さらに、人形劇やキッズヨガ、アロマオイルを使った葉作り、書道教室などのイベントを通して、リラックスできる環境を提供しています。

震災後2年近く経ち、異常事態がようやく落ち着きを見せたと思われたところに、震災直後には表層化しなかった色々な症状が現れています。心のケアを行う幼稚園が今年になり1園増えました。

継続的な活動の必要性をあらためて感じています。



仮設住宅住民の健康相談

臨床心理士による子どもたちのカウンセリング

### その他の活動

石巻市夜間急患センター、女川町地域医療センター、そして石巻市河北での乳児健診に医療者を派遣。また気仙沼市内3カ所の仮設住宅へのボランティア医師による医療活動に帯同し、交通の便が悪く医療にかかりづらい方に支援を行っています。



## ■ 笑顔と楽しみで病気に立ち向かう

小児がんの治療をがんばる『子どもたち』。  
お父さんやお母さんと一緒に楽しい旅行や思い出作りを医師・看護師がサポートしています。かけがえのない時間が、本人と家族にとって次の治療を乗り切る勇気になるように。私たちのそんな願いを込めたプロジェクトです。2012年度は新潟・長岡花火大会や、東京ディズニーランド・ディズニーシーを訪れ、子どもとそのご家族は楽しい

時間を過ごすことができました。2013年度は新しく医師をリーダーとし、より多くの子どもたちが参加できるようルールを一部変更しました。新しいスマイルスマイルプロジェクトとして、活動を開始致します。  
また、当事業を継続させるためには皆様のサポートが欠かせません。一緒に旅行に行くことは難しくても、旅行費用の寄付やディズニーランドパスポートの寄贈など、様々な方法でサポートが可能です。子どもたちの笑顔と一緒に見ませんか。



今、思っていること

「今どこで行く?」



Japan Heart

“一期一会”に感謝する  
気持を込めた活動をしています。

東京事務局

佐藤 抄

私は2011年8月よりジャパンハートに入職し、現在は総務・広報などと共にスマイルスマイルプロジェクトを担当しています。子どもとそのご家族の楽しい思い出作りをサポートする為に、面談～メールなどのプランニングを経て当日を迎え、初めは緊張している(?)私たちスタッフも、旅行の終盤にはたくさんの笑顔を見てくれる子どもたちに素直にたたずみがほころびます。

楽しかったね。うれしいね。また行けるといいね。  
私たちもうれしいです。ありがとうございます。  
様々な理由により、残念ながら全てのご依頼に対応する事はかないませんが、ひとつひとつのかけがえのない人生に関われる、この“一期一会”に感謝しながら、また気持を込めながら活動していきます。

## 看護研修



### 国際看護長期研修

「医療の届かないところに医療を届ける」をコンセプトとするジャパンハートの活動地で、キャリアアップを目指す看護師の方へ臨床医療実践の研修を行っています。

国際的な医療現場で活躍するための重要なスキルである、臨床看護能力、人種を超えたコミュニケーション能力等を身につけることを目標にしています。「十分な医療物資・人材の揃わない環境で、目の前の問題にどう対応するべきか。」その問題を解決するために必要な情報を自分で得て考え、判断し、行動することで医療者としての技術・知識を再認識していきます。

今年度より新プログラムとなり、国内(僻地離島)・海外(ミャンマー等)半年ずつの研修を行います。研修終了後は、国際医療支援チームの一員として研修で得た経験を生かしながら、カンボジアやラオスなどの活動地で実践していただけるようになりました。

その他、医療英語研修やミャンマー語研修の導入、研修前後の合宿などのサポート体制もさらに充実しました。

国内研修では、宮城県の女川町地域医療センターが新たに加わり、研修地は合計5カ所(山梨市立牧丘病院・隠岐島前病院・長崎県上五島病院・長崎県対馬いづはら病院)になりました。

2004年から始まった長期研修のこれまでの参加者は約100名、昨年度は30名前後の看護師が参加しています。研修終了した看護師たちは、ジャパンハートスタッフとして各事業のマネジメント業務従事のほか、世界各地での医療保健活動、大学院進学など各々更なるキャリアアップを目指し世界中で活躍しています。





## ■ 国際医療短期ボランティア

数日間の休暇を利用して、実際に医療支援活動に参加出来るボランティアです。医療者はもちろん、一般・学生も気軽にご参加頂けます。発展途上国の医療現場では、医療を簡単にかつ十分に受けられない人が大勢います。国際医療短期ボランティアは、手術を集中的に行う、手術ミッション期間に合わせ毎月募集をしています。

2011年度は153名、2012年度は、総勢206名(医師83

名、看護師79名、学生32名、一般12名)の方が参加され、年々参加者数が増えています。

現在、ミャンマーの活動地であるワッヂエ慈善病院の近くにスタッフの宿舎を建設し、一人でも多くの方に参加して頂けるよう受入れ体制も整えています。現地の人々の笑顔に癒されながら、国際医療の現場を肌で感じることが出来るボランティア活動です。



変わらぬ志。それは、  
日本と母国の『架け橋』になることです。

東京事務局 コーディネーター  
**トゥザーアウン**

日本語に出会って10年以上が経ちました。一人でも多くの人が渡れる『大きな架け橋』になれるよう、日々奮闘中です。短期ボランティアに参加される方は初めてのことが多く、様子もわからず不安を抱えています。参加者の方が安心して参加頂けるようにサポートしています。

その他にヤンゴンの養育施設Dream Trainの里親制度の担当をし、ミャンマーの子どもたちと、日本の里親を繋ぐ

お手伝いをしています。主な内容は、里子の紹介、ご支援スタート後は、手紙のやり取りのサポートに、年に二回、成長記録を送付しています。また、里子に会いに行きたいと希望されるの施設訪問のお手伝いも行っています。10年前になりたかった自分と、今目指している自分は、いつ聞かれても同じ答えです。日本と母国パイプ役をし続けることが私のミッションです。

これからの自分

架け橋

X Japan Heart

# 私たちの活動に参加しませんか？

ジャパンハートには、「国際協力に興味がある」  
「自分のできることから始めたい」皆さんに  
参加いただける活動があります。

## イベント・セミナーへの参加

様々な対象者に向けたイベント・セミナーを主に関東、関西で実施しています。昨年度は「Japan Heartセミナー」「短期ボランティア説明会＆講演会」などを実施しました。活動の説明やスタッフの体験談などを通じて、団体や国際協力への理解を深めるとともに、セミナーでは自分の事についても話すなど、他ジャンルの方との交流することもできます。

また、看護師向けには、国際看護長期研修の説明会や看護師講演会を行っています。国内外における臨床医療の現場を通して、国際舞台で活躍できる看護師を育成している『国際看護長期研修』の詳細を説明するほか、実際に研修を終えた看護師たちの体験報告も聞くことができます。また講演会では現場でマネジメントや事業展開を行っている看護師たちから活動の実際から、現地の生活まで、生の声でお伝えしています。

## スタディツアーハーへの参加

2012年度より一年に数回、夏休みなどの期間に合わせて学生・看護師・一般の方を対象とした海外活動地へのスタディツアーハーを企画・実施しています。独りでの海外渡航が不安な人でも、日本からスタッフが同行し、現地まで同行します。

また、現地で活動するスタッフや参加者同士での交流プログラムも多く設けていますので、短期ボランティアへの参加とはまた一味違う経験、学びを深める貴重な機会を提供しています。現在までに企画、実施したツアーは、「一般・学生向けカンボジア/ミャンマースタディツアーハー」「看護師限定ミャンマースタディツアーハー」「Dream Train訪問ツアーハー」「中学生・高校生対象ミャンマースタディツアーハー」など。また、帰国後の参加者同士でのつながりも旅の醍醐味の一つです。

ぜひ、ご参加ください。



## VOICE



現地で働くスタッフに  
触発されて自分も大きく成長。

**宮田 理香さん**（看護師）

全国から様々な経歴を持つ看護師が参加していて、その中には短期ボランティアや、スタディツアーハーに参加している看護師もいました。体験談や看護師としての理念等様々なお話を聞くことが出来、あらためて自分は狭いフィールド、価値観の中に居ることを再認識しました。少しでも多くのものを吸収しようとする意識の高い看護師と過ごせるとても貴重な体験でした。

## VOICE



行けばわかります！  
生き方や価値観に感激。

**一ノ瀬 孝さん**（会社経営）

参加を決めた一番の動機は、吉岡秀人の“生き様”にとても魅力を感じたからです。ツアーで学んだこと、それは“心の声に素直に従う”ということ。一般常識や世間体に囚われず、不細工でもこれを実践すれば幸せになれるという確信です。さらに吉岡先生以外にも、とっても熱い仲間たちと出会い、刺激を受けました。言葉にすると安っぽいのでとにかく行ってみてください。行けば分かります！

## インターンとして参加

インターン制度とは半年から1年程度、各地で活動の運営の一端を担い、無給で団体に従事する形態です。参加者の年齢、経歴は様々ですが、皆「これから国際協力に携わりたい」「人生で一度は国際協力の仕事をしたい」などの思いを持ってジャパンハートの門を叩きます。インターン参加に特別な資格はいりませんが、自主的に目的と課題を見つけてやり遂げる力を養うことが必須になります。スタッフのサポートをしながらNPOの仕事を学び、スタディーツアーやイベントの企画運営、ボランティアの受け入れ、各事業に必要な書類の作成・管理・調達をするなど、仕事の責任は大きく、やりがいもあります。今年度も休学をして参加した学生3名が半年～2年の参加期間を経て社会へ旅立っています。来年度は学生1名、社会人2名の参加が決定しています。この経験を糧として、就職活動に活かしたり、国際協力の世界に飛び込んだり、その後の進路は様々ですが、インターン期間を通して、想像以上の実りを得られることは間違ひありません。



### VOICE



自分が変わる「最初の一歩」の  
キッカケを与えてくれる。

**高橋 茉莉子さん**（大学生）

大学を休学し、初代学生インターンとして1年半、東北とミャンマーに参加しました。非医療者で業務経験もない状態でのスタートでしたが、役に立ちたい、成長したい一心で挑戦し、最終的にはプロジェクトのひとつを任せられました。ジャパンハートは「変わりたい」と努力する人、すべてにチャンスを与えます。激動の環境で「本気で闘った」経験は、今後も私の人生の重要な指標になるでしょう。

## ボランティア

海外・国外の活動を円滑に行うための活動基盤となり、バックオフィス業務を担っているのが東京事務局です。現在、東京事務局では多くの方がボランティア参加されています。

2～3ヶ月に1回、週2回など、それぞれのライフスタイルに合わせて参加が可能です。得意分野の仕事を担当するのはもちろん、「新しい分野の仕事を覚えたい」というリクエストにもできる限り答えています。「パソコンを使えるようになりたい」「イベントを企画してみたい」など、仕事をしながら実りを得ていただきたく考えています。

また、自分の持つ専門性の高いスキルや知識と経験を活かす「プロボノ」として活動を支えてくださる方もいます。ホームページ作成、翻訳、写真撮影、記録映像の編集など、活動を知っていただくために必要な広報作業の一端を担っていただくこともあります。



### VOICE



私にも  
できることがある。

**上野 葉子さん**

医療を受けたくても、それが叶わない厳しい現実を生きる人々に、無償で手を差し延べるジャパンハートの活動に感銘を受けました。世界には社会的な包容力や人権意識などとは無縁に、ひっそりと暮らす人々がまだまだたくさんいます。そんな人々に寄り添って、生きていく希望を精一杯届けているジャパンハートの皆さんのお手伝いができ私も幸せを感じています。

# 会計報告

## 2012年度 活動計算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

(単位:円)

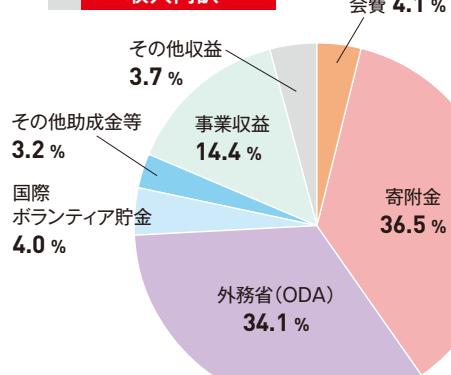
科目	決算額	前年度決算額
<b>I 経常収益</b>		
1 受取会費	9,988,000	9,037,000
2 受取寄附金	89,711,269	282,688,972
3 受取助成金等	101,559,030	60,291,154
4 事業収益	35,649,031	16,451,921
5 その他収益	9,082,177	807,180
<b>経常収益計</b>	<b>245,989,507</b>	<b>369,276,227</b>
<b>II 経常費用</b>		
1 事業費		
(1)人件費	63,436,447	46,949,308
(2)その他経費	133,161,304	129,033,268
旅費交通費	32,937,721	30,668,510
寄附金支出(現地へ建築物等寄贈)	27,359,557	637,836
減価償却費	11,682,162	6,208,071
医療支援・医薬品材料費	10,433,213	12,399,333
学業・子ども支援費	8,032,169	5,808,044
業務委託費	7,155,762	4,226,648
地代・家賃	5,857,921	6,012,925
車両費	5,300,822	7,789,312
その他活動に係る経費	24,401,977	55,282,589
事業費計	196,597,751	175,982,576
2 管理費		
(1)人件費	16,547,988	12,068,558
(2)その他経費	8,352,004	15,054,744
管理費計	24,899,992	27,123,302
<b>経常費用計</b>	<b>221,497,743</b>	<b>203,105,878</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>24,491,764</b>	<b>166,170,349</b>
<b>III 経常外収益</b>		
過年度損益修正益		
Dream Train寄附金追加	1,118,138	0
石眷診療所前期減価償却超過額修正	2,083,725	0
<b>経常外収益計</b>	<b>3,201,863</b>	<b>22,917,956</b>
<b>IV 経常外費用</b>		
過年度損益修正損		
日本NGO連携無償資金協力第1期返納金	1,004,920	0
<b>経常外費用計</b>	<b>1,004,920</b>	<b>134,783</b>
税引前当期正味財産増減額	26,688,707	188,953,522
法人税、住民税及び事業税	219,015	70,000
当期正味財産増減額	26,469,692	188,883,522
前期繰越正味財産額	319,048,402	130,164,880
次期繰越正味財産額	345,518,094	319,048,402

## 2012年度 貸借対照表

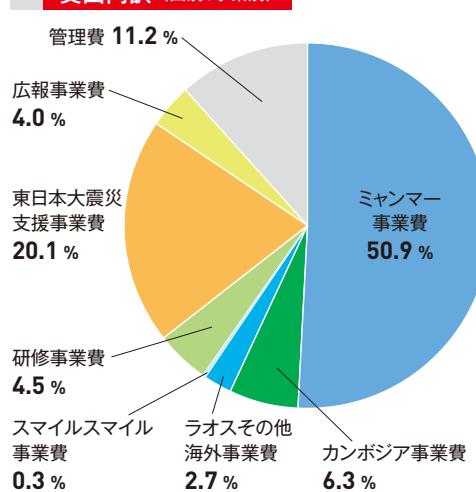
2013年3月31日現在 (単位:円)

科目	決算額
<b>I 資産の部</b>	
1 流動資産	
現金預金	209,130,397
棚卸資産	1,796,603
その他	7,082,286
<b>流動資産合計</b>	<b>218,009,286</b>
2 固定資産	
(有形固定資産)	(116,339,740)
土地	44,386,685
建物	33,743,924
建設仮勘定	24,893,599
車両運搬具	2,029,959
工具器具備品	11,285,573
(無形固定資産)	(22,403,727)
ミャンマー土地賃借権	21,587,527
ソフトウェア	816,200
(その他の資産)	(1,831,579)
敷金・その他	1,831,579
<b>固定資産合計</b>	<b>140,575,046</b>
<b>資産合計</b>	<b>358,584,332</b>
<b>II 負債の部</b>	
1 流動負債	
未払金	2,238,329
前受金	8,210,000
預り金	696,644
未払法人税等	213,965
2 固定負債	
リース負債	(1,707,300)
<b>負債合計</b>	<b>13,066,238</b>
<b>III 正味財産の部</b>	
前期繰越正味財産	319,048,402
当期正味財産増減額	26,469,692
<b>正味財産合計</b>	<b>345,518,094</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>358,584,332</b>

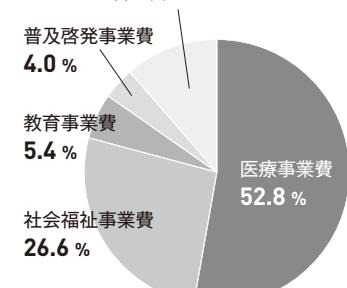
### 収入内訳



### 支出内訳 (国別、事業別)



### 定款事業別



ODA(政府開発援助)の援助形態のひとつである「日本NGO連携無償資金協力」でミャンマーの視覚障害者自立支援事業(継続中)と、「NGOインター・プログラム」でインターン育成を実施しています。

# 多くの企業やメディアが注目しています。

ジャパンハートの活動は、医師や看護師、ボランティアの方々はもちろん、多くの企業やテレビ・新聞・雑誌・出版社などのメディアにも取り上げられ、支えられています。

## 企業との主な連携

### ◎パナソニック株式会社

コンバクトソーラーライト160台を寄付いただきました。現在も電力が不安定なミャンマーでの非常用ライトとして、また、養育施設Dream Trainでは子どもたちの夜間学習用ライトとして活用しています。

### ◎BMW Group Japan

石巻「こども・内科クリニック」で使用する車両を無償リースいただいています。東日本大震災被災地支援に行く医療者の移動用として活用しています。

### ◎十川鞆株式会社

団体の知名度向上を目的として、団体ロゴ入り「Outdoor」バッグの制作をご提案・販売いただいている。また、販売如何にかかわらず寄付いただきました。

### ◎コヴィディエン グループ ジャパン

社内の自販機で飲み物を購入後、募金ボタンを押すことでお釣り金額がそのまま募金される仕組みの「募金機能付き自動販売機」。社員の方々と一緒に募金活動に取り組んでいただいている。また、毎年手

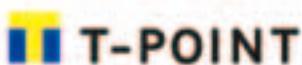


術に必要な縫合糸などを寄付いただいています。

### ◎スリーエムヘルスケア

毎年医療活動に必要な医療用テープを寄付いただいている。活動地では手に入らない良質の医療品は、医療の効率化と患者さんのストレスの軽減に必要不可欠です。

## 共同ファンドレイジング



### ◎Tポイント

加盟店全国58,000店舗で提示するとポイントが貯まる、Tポイントカード。このポイントでミャンマーの養育施設Dream Trainへ寄付いただけるようになりました。ポイントの寄付還元はTポイントカードの会員サイト『T-SITE』からできます。



### ◎Lococom

街の情報サイト『Lococom』(ロココム)でのポイントを寄付いただけるようになりました。クチコミを書いたり、そのクチコミに「いいね！」がされるとポイントが貯まります。サイトを通じて当団体の活動に寄付できます。

## 2012年度の主なメディア掲載

### ◎テレビ

NHK BS1「エルムンド」(6月)  
岡山放送「OHKスーパーニュース」(7月)

NHK BSプレミアム「輝く女」(1月)

### ◎ラジオ

JFN「On The Way Jounal Weekend」(8月)  
ニッポン放送「垣花正 あなたとハッピー」(8月)  
FM群馬・石川・福井・三重・香川・宮崎・鹿児島  
「TheVOICE」(9月)

### ◎雑誌

暮らしと健康(5月)  
週刊女性「人間ドキュメント」(7月)  
体験派医療人マガジンLattice  
「渦中の国、ミャンマーより～ジャパンハート学生チームが見た途上国の現場とは～」12P特集(3月) 他

### ◎新聞

京都新聞「被災地の医療過疎を救え」(4月)  
朝日新聞「ミャンマーの子を支援」(7月)  
朝日小学生新聞「貧しい国の子の命 救いたい」(8月)  
朝日新聞「安城・錦町小特別授業」(10月)  
愛媛新聞 静岡新聞 山口新聞 神戸新聞 デーリー東北  
「僻地離島支援」(1月)  
日本経済新聞「こころのページ/吉岡」(3月)  
夕刊フジ「ブラックジャックを探せ」(2月) 他

### Webマンガ「救え命届け心」連載中

医師向けサイト「e-doctor」で団体代表・吉岡の自伝的WEB漫画。医師を目指すきっかけ、そして訪れたミャンマーで見た途上国の医療の現実。今に至る歩みを克明に描きます。  
ぜひご覧下さい!



### 今年は2冊の本を出版しました。

代表・吉岡秀人の著書が“講談社”と“すばる舎リンク”から出版されました。ぜひ、お近くの書店ならびにWebでお買い求めください。

## ジャパンハート最新情報発信中!

ホームページ、Facebook、Twitter、  
ジャパンハートチャンネル(Youtube)、  
各ブログなどで、ジャパンハートに  
関する情報を随時発信しています。

[www.japanheart.org/](http://www.japanheart.org/)



## ジャパンハート学生チームも活動中!

2012年、難病のニーニーちゃんを救うプロジェクトではクラウドファンディングを利用して300万円を超える寄付を集めています。  
今後も、オーケストラ「MOTIF」チャリティーコンサートを企画するなどジャパンハートの学生部門として活動を続けます。

## 活動への支援

# 様々な形で支援いただけます。

ジャパンハートの活動は、皆様の支援で支えられています。

皆様からお預かりした寄付金・募金は活動地での薬品・医療器具等の購入及び活動費として大切に使用させていただいている。

## 会員になる

正会員・賛助会員(医療従事者・一般・学生・法人会員)として、ぜひ私たちの活動をサポートしてください。

### 会員の特典

- ① 活動地への短期ボランティア・各研修への参加
- ② 年次報告書(年1回)、メールマガジン(月1回)等の購読
- ③ 総会での議決権(正会員のみ)
- ④ 法人会員の特典
  - 当団体のwebサイト上の「国際人道支援協賛団体リスト」への掲載、Webサイト、企業パンフレット、その他印刷物等に、当団体のロゴの記載が可能
  - オリジナルのスタディーツアーなど特別プログラムの企画・実施、社員様参加時の割引制度 など

### 年会費

	正会員	賛助会員
医療従事者	20,000円	18,000円
一般	10,000円	10,000円
学生	10,000円	6,000円
法人会員	100,000円	60,000円

### お申し込み方法

電話：東京事務局へお問い合わせください。  
インターネット：団体ホームページの「支援する」  
→「会員制度」よりお申し込みください。

## マンスリー寄付

1日約30円からできる、継続的な活動サポートです。  
毎月決まった金額を寄付することができます。

### ◎オンライン決済

団体ホームページ「支援する」ページより、決済の登録をお願いします。

### ◎口座からの自動引き落とし

電話、電子メール、団体ホームページ「お問い合わせフォーム」にて口座振替用紙をご請求ください。

## 1回の寄付・募金

### ◎オンライン決済での寄付

団体ホームページ「支援する」ページより、「一回寄付」又は「今回のみのご寄付」をクリック。オンライン決済の登録をお願いします。

### ◎下記口座へのお振り込み

#### [振込口座]

<ゆうちょ銀行からお振り込みの場合>

銀 行 名 ゆうちょ銀行

口座名義 特定非営利活動法人ジャパンハート

口座番号 00910-3-166806

<他の金融機関よりお振り込みの場合>

銀 行 名：ゆうちょ銀行

預 金 種 目：当座

金融機関コード：9900

店 名：〇九九(ゼロキュウキュウ)店

店 番：099

口 座 番 号：0166806

ジャパンハートは2011年11月、国税庁より認定NPO法人として認定されました。当団体へのご寄付は、税制優遇の対象となります。\*会費・参加費などは対象外

## 里親として



### ●ミャンマー

#### 養育施設「Dream Train(ドリームトレイン)」

「Dream Train」で暮らす子どもたちの養育は、里親制度を基盤としています。一人の里親に対して一人の子どもを紹介し、年に2回子どもの成長記録(写真・手紙)をお届けします。里子に会いに現地へ行くことも可能です。まずは詳しい資料をご請求ください。



早いもので設立から3年目を迎えます。施設には、18歳を迎える子どももおり、自立のための職業訓練が急務となっています。さらに、子どもの数も設立から約7倍に増え、建物の増設等も計画しています。これらの費用は、里親支援だけではまかなえません。したがって Dream Train サポーター制度を設けました。皆様の継続的な支援により、さらに多くの子どもを人身売買の危険から守り、末永く安全な施設運営を行う事ができます。

### ●カンボジア

#### 医学生・看護学生奨学生支援「夢の架け橋プロジェクト」

両親がいない、もしくは片親、家族に病人がいるなど、家庭が貧しく教育を受けられない医師・看護師志望の学生が大学へ通うための学費・生活費は、里親制度を基盤としています。一人の里親に対して一人の学生を紹介し、年に2回子どものレポート(写真・手紙)を届けます。里子に会いに現地へ行くことも可能です。まずは詳しい資料をご請求ください。

## 『Dream Train』サポーター、開始!

### Dream Train サポーター

月額 1000円～

#### 《サポーター特典》

年2回、施設の子どもから手紙が届きます。

ご参加には登録が必要です。詳細は団体ホームページ「支援する」をご覧ください。

## ボランティアとして

医療の知識、経験がなくても参加できます。(＊海外での活動参加には会員登録が必要。)ミャンマーでは病院や養育施設DreamTrain、日本では東京事務局や各種イベント、

### ① 短期で参加(ミャンマー)

#### ●ザガイン・ワッヂェ慈善病院

手術や診察に来る多くの患者さんであふれる病院では、外来診察介助、病棟看護ケア介助、処置に使うガーゼや綿球の作成・滅菌、医療器具の洗浄の手伝い、患者さんとの交流、および現地人スタッフへの日本語教育など、様々な仕事を経験できます。

#### ●養育施設Dream Train

施設での食事作り・掃除・洗濯をスタッフや子どもたちと一緒に手伝いください。一緒に遊んだり、勉強したりと、言葉は通わずとも、無邪気な子どもたちと交流が図れます。

### ② 短期で参加(カンボジア)

現地の病院における外科手術のほかに、医療機関へのアクセスが悪い村での巡回診療を行っています。それらは短期ボランティアの医師・看護師が主体となって行います。医師は外科・内科問わず、看護師はキャリアによって手術介助や病棟管理などを私たちと一緒に行います。

(＊医療者のみ)

スマイルスマイルプロジェクトへのサポートなど、皆様の参加をお待ちしています。詳しくは、東京事務局へお問い合わせください。

### ③ 日本国内で参加

#### ●東京事務局での運営サポート

宛名書きやパソコン入力作業、資料請求の発送作業など。

#### ●プロボノ支援

広報活動、翻訳(英語、ミャンマー語、クメール語、ラオス語)、コンピューターシステム構築、文書作成、印刷物の企画、デザイン、画像編集、レイアウト、イベント、キャンペーンの企画運営、写真や動画撮影、編集など。

#### ●スマイルスマイルプロジェクトでの企画のサポート

企画から実行までの各種調整、付き添い、しおりやアルバム作成など。



今、考えていること



Japan Heart



Japan Heart

特定非営利活動法人 ジャパンハート

〒110-0016 東京都台東区台東1-33-6 セントオフィス秋葉原10階

TEL:03-6240-1564 FAX:03-5818-1610

ホームページ: <http://www.japanheart.org/>